

ごあいさつ

昨年秋の米国の証券・金融不安を発端とした世界同時不況といわれる景気後退の影響によって急速に悪化した経済状況を反映し、建設業界も、民間企業の設備投資意欲の減退や不動産市況の大幅な悪化など厳しい情勢に直面しています。このような環境のもと、持続可能な循環型社会への要求が一層強まり、今までに建設された社会資本や構造物をいかに長く使っていくかという課題への対応が要請されています。

広く地球環境に目を向けると、ここ数年を見てもバングラデシュのサイクロン被害、中国四川地震などの巨大災害をはじめ、自然災害が数多く発生しています。特に自然災害の発生が多い日本では、地震や台風に限らず、地球温暖化の影響かと考えられる局地的な豪雨により各地で被害が相次ぐなど、いたましい自然災害が後を絶たず、防災・減災に対する一層の取り組みが求められています。さらに、地球温暖化は、喫緊の課題であり、二酸化炭素削減など環境問題への取り組みが強く要請されています。

このような社会環境の中、社会資本や構造物に対する安全・安心の確保、維持管理、地球環境問題の解決など、建設業界が果たすべき責任は大きく、これらのニーズに応えるために技術の開発、研鑽に日々取り組むことが私たちの使命と考えております。

飛島建設は、創業者飛嶋文吉翁の『利他利己』というお客様第一の精神のもと、『Qualityの追求』を経営理念に掲げ、常に「お客様の満足」を目指しております。創業以来120余年で培った「技術力」と「ものづくりへの熱意」を礎として、「防災のトビシマ」、「建ててから始まる真のお付き合い」をスローガンに、社会の変化に対応しその要請に応え、よりお客様に身近な企業としての活動に努めております。また、複雑化・多様化する社会のニーズに応えるために、企業間連携や産学官連携による技術開発の加速や拡充にも力を入れております。

「とびしま技報」は、創刊以来第58号を重ね、これまで当社が取り組んでまいりました技術開発・研究開発の成果や、土木や建築の計画・調査・設計・施工および維持管理など多岐にわたる技術の一端を紹介させていただいております。本誌第58号では、現場における技術の検証を中心として、トンネル、ダム、シールド、開削、橋梁等の土木分野から、建築施工や設計計画等の建築分野まで、さらには両分野に共通する環境、維持保全、施工合理化、品質向上、地震防災におよぶ25編を掲載いたしました。

「とびしま技報」を多くの皆様方にご高覧いただき、私どもの活動が少しでもお役に立てれば望外の幸せと存じます。また、一層の技術力の向上のためにも、忌憚のないご意見を賜りますれば幸いです。

末尾になりますが、これまで同様に、トビシマへのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2009年9月

技術研究所長

三輪 滋